

Low T3 症候群の疫学調査及び臨床的意義の検討

1. 背景

Low T3 症候群は FT4, TSH が基準範囲内、FT3 が基準範囲下限以下の時に診断されます。病態としては、極端なやせ、心筋梗塞、重症消耗性疾患、バセドウ病 RI 治療後の甲状腺機能低下症で認められる事が多いです。しかしながら、そのような病態がない場合でも認めることがあります。また、FT3 の基準範囲は加齢とともに基準範囲上限が低下していきます。今回、現在知られている Low T3 症候群を起こす疾患を認めない症例の頻度、性別、加齢の影響、病態などを検討致します。

2. 対象及び方法

2005 年から 2023 年 12 月までの当院未治療初診患者での Low T3 症候群の頻度、年齢、性別、甲状腺疾患、合併症、既往症、服薬歴を検討します。データ収集は電子カルテを使用します。

3. 研究期間

2024 年 8 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日

4. 研究対象者の人権および安全性・不利益に対する配慮

4-1：人権への配慮（個人情報保護、目的外使用の禁止）

研究対象者の個人情報は、本研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年2月一部改正）を遵守して取り扱います。研究代表者等が本研究で得られた情報を公表する際には、研究対象者を特定できる情報が含まれていないことを確認します。また、本研究で得られた研究対象者の情報は、本研究の目的以外に使用しません。

4-2：安全性・不利益への配慮

本研究は、既存情報を使用する研究であり、侵襲および介入を伴わないため、研究対象者への有害事項、不利益は発生しません。

5. 倫理指針およびヘルシンキ宣言等への対応

本研究に関与するすべての者は、「世界医師会ヘルシンキ宣言 2013年」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年2月一部改正）を遵守して実施します。

6. 研究計画の登録および研究結果の公表、使用

6-1 研究の概要および結果の登録

本研究は、介入および侵襲性を有する臨床研究にあたらなため、公的データベースへの登録は行いません。

6-2 研究結果の公表

本研究の成績は、公的機関への申請、論文あるいは学会発表として公表する予定です。本研究では、匿名化された情報のみを取り扱いますが、公表に際しては研究対象者の個人情報に配慮致します。

6-3 研究結果の使用

本共同研究の結果を学術情報等として使用出来るものとします。

7. 研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究に協力されるかは、患者さんの自由意志で決めることができます。また一旦同意を頂いた場合でもいつでも同意を取り消すことができます。カルテ情報がこの研究に使用されることについてご了承いただけない場合には 研究対象としませんので、「試料等残余検体および情報の医学研究への利用に関する不同意書」に必要事項をご記入のうえ、ご提出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

8. 実施体制

伊藤病院	吉村 弘	伊藤病院顧問	03-3402-7411
	五十子 大雅	内科 非常勤医師	03-3402-7411

9. 問い合わせ先

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前 4 丁目 3 番 6 号
伊藤病院 内科 吉村 弘 TEL 03-3402-7411